

トップメッセージ GRI2-22

未来のいのちを守る



花王株式会社
代表取締役 社長執行役員

長谷部 佳宏



花王統合レポート2023
社長メッセージ

<https://www.kao.com/jp/investor-relations/library/reports/>

花王は「豊かな共生世界の実現」をパーパスに定め、中期経営計画「K25」において「未来のいのちを守る」[Sustainability as the only path]をビジョンに掲げました。

今、事業を囲む状況は大きく変化しています。そのような中で、既存事業の再生をめざすReborn Kaoと、新事業の創成をめざすAnother Kaoというコンセプトで両輪の改革を推進しており、社会課題を解決しながら事業を発展させていく上で、ESG戦略はますます重要と考えています。

ESG戦略を遂行する上で核となるのが、「ESG視点でのよきモノづくり」です。商品をつくるエネルギー、物質、労力が最小限ながら、お客さまへのさまざまな価値が強く長く満たされ、循環型社会に貢献するモノづくりです。最小限の資源消費で最大限の商品価値を生み出す(Maximum Value with Minimum Waste)、社会課題を解決するモノづくりです。

マーケティングにおいてもESG視点を強化していきます。商品の特徴ある機能的価値だけでなく、「ESG視点でのよきモノづくり」により生み出されるサステナビリティ価値をお客さまのところに届けることで、お客さまとの強い絆を育ていくロイヤリティ・マーケティングとして事業を発展させていきます。

社会課題を解決するモノづくりと、それにより生み出されるサステナビリティ価値を伝えるマーケティングの連動により、社会課題を解決しながら事業を発展させていきます。

また、新事業モデルをめざすAnother Kaoの具体的な取り組みを2022年より始動しましたが、それらは社会課題解決をしながら事業成長をめざすビジネスモデルです。例えば2022年6月にタイで発売した忌避剤は、 Deng熱からタイの人々のいのちを守りたいという想いに基づいた事業ですが、行政や取引先から強い支持を得ることができ、今までにないスピードで人々の生活にお役立ちすることができました。

花王は、消費を前提としたモノづくりから、資源を循環させるモノづくりへと変革していきます。「数」と「量」の線形型経済から、「質」と「絆」の循環型経済への移行です。そのために、発展する循環型のビジネスモデルの構築をめざします。

引き続き厳しい環境の中での事業改革を推進しますが、この混沌を意識改革の好機と捉え、花王グループ社員の活力を最大化し、ステークホルダーの皆さんと共に、世界中の人にKirei Lifeをお届けできることをめざして、活動してまいります。